

2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月31日

上場会社名 株式会社 ヨシタケ
 コード番号 6488 URL <https://www.yoshitake.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 哲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 島 勝彦

TEL 050-3508-5835

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,758	10.5	423	4.7	766	29.0	649	50.5
2022年3月期第2四半期	3,400	13.0	444	133.9	593	91.5	431	80.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 851百万円 (622.9%) 2022年3月期第2四半期 117百万円 (60.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	50.86	
2022年3月期第2四半期	33.79	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	15,633	13,709	87.2	1,068.44
2022年3月期	15,313	13,186	85.6	1,027.14

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 13,638百万円 2022年3月期 13,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		25.00	25.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年 3月期の連結業績予想(2022年 4月 1日～2023年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	5.8	1,040	10.1	1,430	3.1	1,020	3.5	79.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	13,934,946 株	2022年3月期	13,934,946 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,170,268 株	2022年3月期	1,170,268 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	12,764,678 株	2022年3月期2Q	12,764,678 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、[添付資料] P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルスの感染者数は7月から8月にかけて急拡大したものの、その後は減少傾向で推移しております。それに伴い外国人観光客の受け入れ再開や行動制限の緩和による外出関連消費の改善など、経済活動の正常化に向けた動きが見受けられました。しかし、製造業においては世界的な半導体不足に加え、原材料価格やエネルギー価格の高騰、さらに2022年3月以降急速に進行している円安の影響により仕入れコストは大幅に増加しており、本格的な回復には至りませんでした。今後につきましては、政府による観光需要喚起策である全国旅行支援が10月から開始されるなど、さらなる国内経済の活性化・景気回復が期待されますものの、新たな変異株の発生による新型コロナウイルス感染症急拡大への懸念や、資源価格を中心としたインフレの拡大懸念など先行きは不透明な状況が続いております。海外経済においては、先進国を中心にワクチン接種や経口治療薬の普及が加速したことで、経済活動は緩やかな回復傾向で推移しましたが、ロシアによるウクライナ侵攻は、エネルギー価格の上昇や貿易・サプライチェーンの制約などさまざまな経路を通じて世界経済の下振れ要因となり、回復ペースを鈍化させました。今後につきましては、ウクライナ問題は長期化の様相を見せており、地政学的なリスクがもたらす経済損失により世界経済は大幅に減速し、さらには資源、材料価格の上昇が加速することも予想されるなど、先行きについては依然として不透明な状況となっております。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分注意を払いつつ、国内外のマーケットへ向け営業活動を強化してまいりました結果、国内顧客向け販売においては、工場設備市場において、医療機関・医薬品工場向けマグネットミキサーの好調などにより、販売を伸ばしました。海外顧客向け販売においては、中国向けの販売は前期を下回る売上だったものの、その他の北米地域やアセアン地域向けなどの販売が好調に推移した結果、販売活動全体としては前期を上回る結果となりました。今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せない状況の中、感染予防対策の徹底とより一層の注意を払った行動を意識し、社内の新型コロナウイルス感染症による操業の停止を最小限に抑制します。また品質管理面においては、市場クレーム再発ゼロ、重要品質改善テーマ再発ゼロなど再発防止を徹底し、製品開発においては、開発遅れを徹底的に防止します。販売活動においては、引き続き行動制限が予想されるため、ターゲットを適切に選定しアクションプランとして着実に進捗を図ります。そして生産活動においては、インフレ抑制の為に一層の原価低減策を立案・実行し、また仕入原価上昇に加え、物流の遅延や二社購買、安定納入の観点からも事業継続計画と絡ませて検討してまいります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き積極的な提案営業を展開した結果、連結売上高は37億58百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

損益面では、生産の効率化や工数低減を強力に推し進めましたものの、材料価格の上昇による生産コストの増加などにより営業利益は4億23百万円（前年同期比4.7%減）となりました。経常利益は円安による為替の影響などにより7億66百万円（前年同期比29.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億49百万円（前年同期比50.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は156億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億20百万円増加しました。主に現金及び預金が62百万円、有形固定資産が1億50百万円減少したものの、投資有価証券が4億65百万円増加したことなどによります。

負債は19億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2百万円減少しました。主に支払手形及び買掛金が1億10百万円増加したものの、未払法人税等が1億18百万円、役員退職慰労引当金が1億93百万円減少したことなどによります。

純資産は137億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億22百万円増加しました。主に親会社株主に帰属する四半期純利益を6億49百万円計上したことにより利益剰余金が3億30百万円増加したことや、為替換算調整勘定が2億17百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月16日付決算短信にて開示いたしました予想値から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による事業への影響につきましては、今後の状況を注視してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,884,201	2,821,241
受取手形及び売掛金	1,850,718	1,742,820
電子記録債権	813,672	877,546
商品及び製品	947,080	989,086
仕掛品	692,880	756,091
原材料及び貯蔵品	841,266	939,979
その他	209,284	214,939
貸倒引当金	△13,226	△14,069
流動資産合計	8,225,877	8,327,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,481,446	3,256,058
減価償却累計額	△1,975,517	△1,797,290
建物及び構築物 (純額)	1,505,929	1,458,767
機械装置及び運搬具	3,821,213	4,002,555
減価償却累計額	△2,607,965	△2,792,215
機械装置及び運搬具 (純額)	1,213,247	1,210,339
土地	1,160,390	1,101,955
リース資産	127,854	126,839
減価償却累計額	△62,403	△69,804
リース資産 (純額)	65,450	57,034
建設仮勘定	94,958	70,426
その他	1,162,010	1,140,955
減価償却累計額	△1,077,673	△1,065,216
その他 (純額)	84,336	75,739
有形固定資産合計	4,124,313	3,974,263
無形固定資産	46,118	46,342
投資その他の資産		
投資有価証券	2,459,856	2,925,008
その他	496,092	406,593
貸倒引当金	△39,090	△46,249
投資その他の資産合計	2,916,858	3,285,353
固定資産合計	7,087,290	7,305,960
資産合計	15,313,167	15,633,595

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	622,796	732,936
未払法人税等	270,731	151,937
賞与引当金	159,589	143,222
その他	265,049	303,369
流動負債合計	1,318,165	1,331,465
固定負債		
リース債務	47,432	38,551
役員退職慰労引当金	315,671	121,949
退職給付に係る負債	407,172	396,352
資産除去債務	38,114	36,218
固定負債合計	808,391	593,071
負債合計	2,126,556	1,924,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,908,674	1,908,674
資本剰余金	2,657,905	2,657,905
利益剰余金	8,440,367	8,770,509
自己株式	△454,777	△454,777
株主資本合計	12,552,170	12,882,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,568	16,456
為替換算調整勘定	522,345	739,481
その他の包括利益累計額合計	558,913	755,938
非支配株主持分	75,526	70,807
純資産合計	13,186,611	13,709,059
負債純資産合計	15,313,167	15,633,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,400,040	3,758,220
売上原価	1,960,307	2,185,072
売上総利益	1,439,733	1,573,147
販売費及び一般管理費	994,875	1,149,187
営業利益	444,857	423,959
営業外収益		
受取利息	17,011	27,811
受取配当金	5,359	7,563
持分法による投資利益	79,473	118,250
為替差益	35,459	189,916
その他	14,176	8,107
営業外収益合計	151,480	351,649
営業外費用		
支払利息	918	723
減価償却費	-	2,226
設備撤去費用	479	3,156
その他	992	3,127
営業外費用合計	2,390	9,233
経常利益	593,947	766,375
特別利益		
固定資産売却益	-	143,630
投資有価証券売却益	9,535	-
特別利益合計	9,535	143,630
税金等調整前四半期純利益	603,482	910,006
法人税、住民税及び事業税	150,260	134,063
法人税等調整額	13,148	121,402
法人税等合計	163,409	255,466
四半期純利益	440,073	654,540
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,709	5,281
親会社株主に帰属する四半期純利益	431,364	649,259

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	440,073	654,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,650	△20,111
為替換算調整勘定	△273,805	155,184
持分法適用会社に対する持分相当額	△30,826	61,951
その他の包括利益合計	△322,281	197,024
四半期包括利益	117,791	851,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,082	846,283
非支配株主に係る四半期包括利益	8,709	5,281

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	603,482	910,006
減価償却費	202,682	231,872
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,298	△16,367
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,825	6,325
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,531	8,003
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,878	△12,644
受取利息及び受取配当金	△22,370	△35,374
支払利息	918	723
為替差損益 (△は益)	△9,454	△107,413
持分法による投資損益 (△は益)	2,902	39,769
固定資産除売却損益 (△は益)	-	△142,664
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,535	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△97,765	56,293
棚卸資産の増減額 (△は増加)	17,238	△168,826
仕入債務の増減額 (△は減少)	50,381	95,029
その他	△86,206	124,031
小計	645,211	988,763
利息及び配当金の受取額	73,473	34,327
利息の支払額	△918	△723
法人税等の支払額	△77,422	△231,759
役員退職慰労金の支払額	-	△294,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	640,344	496,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,083	△10,083
定期預金の払戻による収入	10,083	10,083
有形固定資産の取得による支出	△715,177	△163,321
有形固定資産の売却による収入	2,413	300,641
無形固定資産の取得による支出	△7,455	△12,123
投資有価証券の取得による支出	△65,819	△400,498
投資有価証券の売却による収入	341,290	-
投資有価証券の償還による収入	300,000	-
その他の支出	△14,307	△23,973
その他の収入	2,833	3,438
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156,223	△295,838
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△191,470	△319,116
非支配株主への配当金の支払額	△10,000	△10,000
リース債務の返済による支出	△13,172	△12,501
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,642	△341,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49,583	78,268
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	219,895	△62,960
現金及び現金同等物の期首残高	2,516,671	2,849,015
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,736,566	2,786,054

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる時価の算定方法に重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	日本	東南アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	3,196,559	203,481	3,400,040
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,196,559	203,481	3,400,040
セグメント間の内部売上高又は振替高	38,513	862,095	900,609
計	3,235,072	1,065,577	4,300,650
セグメント利益	310,158	112,322	422,480

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	422,480
棚卸資産の調整額	11,100
セグメント間取引消去	11,276
四半期連結損益計算書の営業利益	444,857

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	日本	東南アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	3,423,867	334,352	3,758,220
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,423,867	334,352	3,758,220
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,580	836,016	889,596
計	3,477,448	1,170,369	4,647,817
セグメント利益	336,066	87,113	423,179

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額
の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	423,179
棚卸資産の調整額	△23
セグメント間取引消去	803
四半期連結損益計算書の営業利益	423,959